

医療法人 正和会
介護職員初任者研修カリキュラム

【研修科目ごとの時間数】

本研修は、科目ごとに次の時間数で実施される。

科 目 名	総 時 間
第1巻	
第1章 職務の理解	6 時間
第2章 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間
第3章 介護の基本	6 時間
第4章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9 時間
第5章 介護におけるコミュニケーション技術	6 時間
第6章 老化の理解	6 時間
第7章 認知症の理解	6 時間
第8章 障害の理解	3 時間
第2巻	
第1章 介護に関する基礎的理解	12 時間
第2章 自立に向けた介護の展開	51 時間
第3章 生活支援技術演習	12 時間
振り返り	4 時間

【研修科目ごとの到達目標と評価基準】

本研修における科目ごとの到達目標と評価基準について明記する。

1. 研修事業全般

到 達 目 標
1. 基本的な介護を実践するために、最低限必要な知識・技術が理解できている。
2. 介護を実践するにあたって、正しい知識とアセスメント結果に基づく適切な介護技術の適用が必要であるということが理解できている。
3. 自立の助長と重度化防止・遅延化のために、介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用し、発揮させるという視点が大切であるということが理解できている。

4. 利用者ができるだけ馴染みのある環境で日常生活を送れるようにするために、利用者一人ひとりにおける生活状況を的確に把握することが必要であるということが理解できている。
5. 他者の生活観及び生活の営み方への共感、相手の立場で考えるという姿勢を持つことの大切さが理解できている。
6. 自立支援に資するサービスを、多職種と協働して総合的、計画的に提供できる能力を身につけることが、自らの将来の到達目標であると理解できている。
7. 利用者本位のサービスを提供するチームアプローチの重要性と、その一員として業務に従事する際の役割、責務等が理解できている。
8. 利用者、家族、多職種との円滑なコミュニケーションのとり方の基本が理解できている。
9. 的確な記録・記述の大切さが理解できている。
10. 人権擁護の視点、職業倫理の基本が理解できている。
11. 介護に関する社会保障の制度、施策、サービス利用の流れ等について、概要が理解できている。

2. 職務の理解（6時間）

目 的
研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージをもって実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。
到 達 目 標
研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのように仕事を行うのを具体的なイメージで実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになっている。

3. 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）

目 的
介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する。
到 達 目 標

介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての、基本的視点及びしてはならない行動例が理解できている。

評 価 基 準

1. 尊厳の保持、QOL、ノーマライゼーション、自立支援の考え方を取り入れながら、介護の目標や展開について概説することができる。
2. 虐待の定義、身体拘束、サービス利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護について、基本的なポイントを列挙することができる。

4. 介護の基本（6時間）

目 的

介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。

介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援をとらえることができる。

到 達 目 標

1. 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応のうち重要なものが理解できている。
2. 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができている。

評 価 基 準

1. 介護の目指す基本的なものは何かを概説することができ、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について列挙することができる。
2. 介護職として共通の基本的な役割とサービス毎の特性、医療・看護との連携の必要性について列挙することができる。
3. 介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを列挙することができる。
4. 生活支援の場で起こり得る典型的な事故や感染、介護における主要なリスクを列挙することができる。
5. 介護職に起こりやすい健康障害や受けやすいストレス、それらに対する健康管理、ストレスマネジメントの在り方、留意点等を列挙することができる。

5. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）

目 的
介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを習得する。
到 達 目 標
介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として、最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務等について、その概要のポイントを列挙することができる。
評 価 基 準
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活全体の支援の中で、介護保険制度の位置付けを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙することができる。 2. 介護保険制度や障害者自立支援制度の理念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について列挙することができる。 (例：税が財源の半分であること、利用者負担割合等) 3. ケアマネジメントの意義について概説することができ、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙することができる。 4. 高齢障害者の生活を支えるための基本的考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見制度の目的、内容について列挙することができる。 5. 医行為の考え方、一定の要件下で介護福祉士等が行う医行為について列挙することができる。

6. 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）

目 的
高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを図ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限とるべき（とるめきでない）行動例を理解する。
到 達 目 標
高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なること、その違いを認識してコミュニケーションをとることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限とるべき又はとるべきではない行動例が理解できている。
評 価 基 準

1. 共感、受容、傾聴的態度、気付きなど、基本的なコミュニケーション上のポイントを列挙することができる。
2. 家族が抱きやすい心理や葛藤、介護における相談援助技術の重要性を理解し、介護職として持つべき視点を列挙することができる。
3. 言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点を列挙することができる。
4. 記録の機能と重要性に気付き、主要なポイントを列挙することができる。

7. 老化の理解（6時間）

目 的
加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。
到 達 目 標
加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項が理解できている。
評 価 基 準
<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢・老化に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力面等の変化に着目した心理的特徴について列挙することができる。 (例：退職による社会的立場の喪失感、運動機能の低下による無力感や羞恥心、感覚機能の低下によるストレスや疎外感、知的機能の低下による意欲の低下等) 2. 高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴及び治療・生活上の留意点、高齢者の疾病による症状や訴えについて列挙することができる。 (例：脳梗塞の場合、突発的に症状が起こり、急速に意識障害、片麻痺、半側感覚障害等を生じる等)

8. 認知症の理解（6時間）

目 的
介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断の基準となる原則を理解する。
到 達 目 標
介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則が理解できている。

評 価 基 準

1. 認知症ケアの理念や、利用者中心というケアの考え方を概説することができる。
2. 「もの忘れ」と認知症による記憶障害の違いについて列挙することができる。
3. 認知症の中核症状と行動・心理症状(B P S D)等の、基本的特性及びそれに影響する要因について列挙することができる。
4. 認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションのとり方及び介護の原則について列挙することができる。また、若年性認知症の特徴についても列挙することができる。
5. 認知症の利用者の生活環境の意義やその在り方における、主要なキーワードを列挙することができる。
(例：生活習慣や生活様式の継続、馴染みの人間関係や空間、プライバシーの確保と団らんの場の確保等、地域を含めて生活環境とすること等)
6. 認知症の利用者とのコミュニケーション(言語・非言語)の原則、ポイントについて理解し、具体的な関わり方(良い例、悪い例)について概説することができる。
7. 家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて列挙することができる。

9. 障害の理解 (3時間)

目 的

障害の概念と ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。

到 達 目 標

障害の概念と ICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解できている。

評 価 基 準

1. 障害の概念と ICF について概説することができ、各障害の内容と特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について列挙することができる。
2. 障害の受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙することができる。

10. 介護に関する基礎的理解、自立に向けた介護の展開・生活支援技術演習 (75時間)

目 的

理論や法的根拠に基づく介護の基本的な考え方を習得する。

介護技術の根拠となる「こころのしくみ(学習、記憶、感情、意欲等)」に関する知識

を習得する。

介護技術の根拠となる「からだのしくみ（人体の構造や機能）」に関する知識を習得する。

安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基本的な一部または全介助等の介護が実施できる。

尊厳を保持し、その人の自立および自律を尊重し、もてる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。

生活の各場面での介護について、事例を通じて、生活支援を提供する流れを理解し、技術を習得する。

利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を習得する。

到達目標

1. 介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。
2. 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識が習得できている。

評価基準

1. 主な状態像の高齢者の生活の様子をイメージすることができ、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面の高齢者の生活について列挙することができる。
2. 要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則(方法、留意点、その根拠等)について概説することができ、生活の中の介護予防及び介護予防プログラムによる機能低下の予防の、考え方や方法について列挙することができる。
3. 利用者の身体の状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙することができる。
4. 人の記憶の構造や意欲等を、支援と結びつけて概説することができる。
5. 人体の構造や機能を列挙することができ、何故行動が起こるのかについて概説することができる。
6. 家事援助の機能と基本原則について列挙することができる。
7. 装うことや整容の意義について概説することができる。
8. 体位変換と移動・移乗の意味と、関連する用具・機器や様々な車椅子、杖等の基本的な使用方法を概説することができる。
9. 食事の意味と、食事を取り巻く環境整備の方法について列挙することができる。
10. 入浴や清潔の意味と、入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具について列挙す

<p>ることができる。</p> <p>11. 排泄の意味と、排泄を取り巻く環境整備や関連した用具について列挙することができる。</p> <p>12. 睡眠の意味と、睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具について列挙することができる。</p> <p>13. ターミナルケアの考え方、対応の仕方・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携(ボランティアを含む)について列挙することができる。</p>
<p>評 価 基 準 (介護技術)</p>
<p>1. 装うことや整容の意義について概説することができ、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる。</p> <p>2. 体位変換と移動・移乗の意味と、関連する用具・機器、様々な車椅子、杖等の基本的な使用方法を概説することができ、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみを理解し、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>3. 食事の意味と、食事を取り巻く環境整備の方法を列挙することができ、食事に関するからだのしくみを理解し、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>4. 入浴や清潔の意味と、入浴を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙することができ、入浴に関するからだのしくみを理解し、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>5. 排泄の意味と、排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙することができ、排泄に関するからだのしくみを理解し、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>6. 睡眠の意味と、睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙することができ、睡眠に関するからだのしくみを理解し、指示に基づいて介助を行うことができる。</p>

11. 振り返り (4時間)

<p>到 達 目 標</p>
<p>研修全体を振り返り、研修を通じて学んだ内容を再確認することにより、就業後も学習・研鑽を継続する姿勢が形成され、学習課題を認識することができている。</p>

【修了評価担当者】

医療法人 正和会

正和会アピール課

玉井 寛

平成28年度 医療法人正和会 介護職員初任者研修 時間割 ※会場や講師の都合により変更あり

実施日	18:00～19:00	19:10～20:10
5月9日	月 1-1-1.多様なサービスの理解	1-1-1.多様なサービスの理解
5月10日	火 1-1-1.多様なサービスの理解	1-1-2.介護職の仕事内容や働く現場の理解
5月11日	水 1-1-2.介護職の仕事内容や働く現場の理解	1-1-2.介護職の仕事内容や働く現場の理解
5月12日	木 1-2-1.人権と尊厳の保持	1-2-1.人権と尊厳の保持
5月13日	金 1-2-1.人権と尊厳の保持	1-2-1.人権と尊厳の保持
5月14日	土	
5月15日	日	
5月16日	月	
5月17日	火 1-2-1.人権と尊厳の保持	1-2-1.人権と尊厳の保持
5月18日	水	
5月19日	木 1-2-2.自立に向けた介護	1-2-2.自立に向けた介護
5月20日	金 1-2-2.自立に向けた介護	1-3-1.介護職の役割、専門性と多職種との連携
5月21日	土	
5月22日	日	
5月23日	月	
5月24日	火 1-3-1.介護職の役割、専門性と多職種との連携	1-3-2.介護職の職業倫理
5月25日	水 1-3-2.介護職の職業倫理	1-3-3.介護における安全の確保とリスクマネジメント
5月26日	木 1-3-4.介護職の安全	1-4-1.介護保険制度
5月27日	金 1-4-1.介護保険制度	1-4-1.介護保険制度
5月28日	土	
5月29日	日	
5月30日	月	
5月31日	火 1-4-2.医療との連携とリハビリテーション	1-4-2.医療との連携とリハビリテーション
6月1日	水 1-4-2.医療との連携とリハビリテーション	1-4-2.医療との連携とリハビリテーション
6月2日	木 1-4-3.障害者自立支援制度およびその他の制度	1-4-3.障害者自立支援制度およびその他の制度
6月3日	金 1-5-1.介護におけるコミュニケーション	1-5-1.介護におけるコミュニケーション
6月4日	土	
6月5日	日	
6月6日	月 1-5-1.介護におけるコミュニケーション	1-5-2.介護におけるチームのコミュニケーション
6月7日	火 1-5-2.介護におけるチームのコミュニケーション	1-5-2.介護におけるチームのコミュニケーション
6月8日	水 1-6-1.老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴	1-6-1.老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴
6月9日	木 1-6-2.高齢者と健康	1-6-2.高齢者と健康
6月10日	金 1-6-2.高齢者と健康	1-6-2.高齢者と健康
6月11日	土	
6月12日	日	
6月13日	月	
6月14日	火 1-7-1.認知症を取り巻く環境	1-7-2.医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理
6月15日	水	
6月16日	木 1-7-2.医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1-7-3.認知症に伴うことからのからだの変化と日常生活
6月17日	金 1-7-4.家族への支援	1-7-4.家族への支援
6月18日	土	
6月19日	日	
6月20日	月	
6月21日	火 1-8-1.障害の基礎的理解	1-8-2.障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識
6月22日	水 1-8-3.家族の心理、かわり支援の理解	2-2-9.死にゆく人に関したところからだのしきみと自立に向けた介護
6月23日	木 2-2-9.死にゆく人に関したところからだのしきみと自立に向けた介護	2-2-9.死にゆく人に関したところからだのしきみと自立に向けた介護
6月24日	金 2-1-1.介護の基本的な考え方	2-1-1.介護の基本的な考え方
6月25日	土	
6月26日	日	
6月27日	月 2-1-2.介護に関するところのしきみの基礎的理解	2-1-2.介護に関するところのしきみの基礎的理解
6月28日	火 2-1-2.介護に関するところのしきみの基礎的理解	2-1-2.介護に関するところのしきみの基礎的理解
6月29日	水 2-1-3.介護に関するからだのしきみの基礎的理解	2-1-3.介護に関するからだのしきみの基礎的理解
6月30日	木 2-1-3.介護に関するからだのしきみの基礎的理解	2-1-3.介護に関するからだのしきみの基礎的理解
7月1日	金 2-1-3.介護に関するからだのしきみの基礎的理解	2-1-3.介護に関するからだのしきみの基礎的理解
7月2日	土	
7月3日	日	

平成28年度 医療法人正和会 介護職員初任者研修 時間割 ※会場や講師の都合により変更あり

実施日	9:00～16:00(6時間) 各週いずれか1日間	
7月4日	月	2-2-1.生活と家事【グループA】
7月5日	火	2-2-1.生活と家事【グループB】
7月6日	水	2-2-1.生活と家事【グループC】
7月7日	木	2-2-1.生活と家事【グループD】
7月8日	金	2-2-1.生活と家事【グループE】
7月9日	土	
7月10日	日	
7月11日	月	2-2-2.快適な居住環境整備と介護【グループA】
7月12日	火	2-2-2.快適な居住環境整備と介護【グループB】
7月13日	水	2-2-2.快適な居住環境整備と介護【グループC】
7月14日	木	2-2-2.快適な居住環境整備と介護【グループD】
7月15日	金	2-2-2.快適な居住環境整備と介護【グループE】
7月16日	土	
7月17日	日	
7月18日	月	
7月19日	火	2-2-3.整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループA】
7月20日	水	2-2-3.整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループB】
7月21日	木	2-2-3.整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループC】
7月22日	金	2-2-3.整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループD】
7月23日	土	2-2-3.整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループE】
7月24日	日	
7月25日	月	2-2-4.移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループA】
7月26日	火	2-2-4.移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループB】
7月27日	水	2-2-4.移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループC】
7月28日	木	2-2-4.移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループD】
7月29日	金	2-2-4.移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループE】
7月30日	土	
7月31日	日	
8月1日	月	2-2-5.食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループA】
8月2日	火	2-2-5.食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループB】
8月3日	水	2-2-5.食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループC】
8月4日	木	2-2-5.食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループD】
8月5日	金	2-2-5.食事に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループE】
8月6日	土	
8月7日	日	
8月8日	月	2-2-6.入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループA】
8月9日	火	2-2-6.入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループB】
8月10日～16日 盆休み		
8月17日	水	2-2-6.入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループC】
8月18日	木	2-2-6.入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループD】
8月19日	金	2-2-6.入浴、清潔保持に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループE】
8月20日	土	
8月21日	日	
8月22日	月	2-2-7.排せつに関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループA】
8月23日	火	2-2-7.排せつに関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループB】
8月24日	水	2-2-7.排せつに関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループC】
8月25日	木	2-2-7.排せつに関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループD】
8月26日	金	2-2-7.排せつに関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループE】
8月27日	土	
8月28日	日	
8月29日	月	2-2-8.睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループA】
8月30日	火	2-2-8.睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループB】
8月31日	水	2-2-8.睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループC】
9月1日	木	2-2-8.睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループD】
9月2日	金	2-2-8.睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護【グループE】
9月3日	土	
9月4日	日	

平成28年度 医療法人正和会 介護職員初任者研修 時間割 ※会場や講師の都合により変更あり

実施日	18:00~19:00	19:10~20:10
9月5日 月		
9月6日 火	2-3-1.介護過程の基礎的理解	2-3-1.介護過程の基礎的理解
9月7日 水	2-3-1.介護過程の基礎的理解	2-3-1.介護過程の基礎的理解
9月8日 木	2-3-2.総合生活支援技術演習	2-3-2.総合生活支援技術演習
9月9日 金	2-3-2.総合生活支援技術演習	2-3-2.総合生活支援技術演習
9月10日 土		
9月11日 日		
9月12日 月	2-3-2.総合生活支援技術演習	2-3-2.総合生活支援技術演習
9月13日 火	2-3-2.総合生活支援技術演習	2-3-2.総合生活支援技術演習
9月14日 水	振り返り	振り返り
9月15日 木	振り返り	振り返り
9月16日 金	筆記試験	
9月17日 土		
9月18日 日		
9月19日 月		
9月20日 火		
9月21日 水		
9月22日 木		
9月23日 金	修了式【13:20~13:50】	
9月24日 土		
9月25日 日		

※ 時間割は会場や講師の都合により、変更される可能性がありますのでご了承ください。

【講師一覧】 ※時間割順

社会福祉士	玉井 寛	介護福祉士	佐藤志保
介護福祉士	近藤 崇	介護福祉士	安田知広
介護福祉士	安井 裕三	介護福祉士	荒木カヨ子
介護福祉士	目黒誓子	介護福祉士	近藤まどか
介護福祉士	石川貴之		